

真言宗 豊山派

花藏院

花藏院

〒183-0022 東京都府中市宮西町5-20-1

TEL 042-361-4143

E-mail info@kezouin.or.jp



花藏院住職
神谷 海純

昭和46年、神奈川県川崎市に生まれる。15歳で東京都府中市に移り、祖父海僊(第20世住職)の守る花藏院に入る。平成2年、明星高校から大正大学に進学。仏教学を学び、真言宗豊山派総本山長谷寺で行を積む。平成7年から平成27年まで、府中市役所に勤務。この間、勤めながら壇務を行う。平成26年、第22世花藏院住職に就く。檀家を第一に考え、飾らない普段着の仏法を説く。

■ 案内地図



■ 周辺拡大地図



■ 交通案内

- 京王線府中駅から徒歩8分
- JR南武線府中本町駅から徒歩5分

墓所のお問い合わせは

(有) 沼尾石材店

〒183-0055 東京都府中市府中町1-28-7

TEL 042-361-2703

e-mail info@numaosekizai.co.jp

URL <http://www.numaosekizai.co.jp/>



真言宗豊山派について

真言宗豊山派は、弘法大師(空海)を宗祖とする真言宗の宗派のひとつです。全国に約三千寺、檀信徒数約二百万人を擁し、奈良の長谷寺を総本山としています。

九世紀初頭、空海は遣唐使として中国に密教を学び、帰朝して東寺や高野山金剛峯寺を創建。両寺を中心に、真言密教を広めました。

十一世紀末、興教大師(覚鑿)がその教えを中興。新たな拠点として紀州根来山に根来寺を建立します。

花藏院ってどんなお寺ですか？

開山は不詳ですが、史料によれば室町時代後期、天文六年(1537年)に阿闍梨祐秀によって中興されたとあります。

下って江戸時代初頭(1705年)、衰えていた寺を法印宥盛が再興しました。それから一世紀半ののち文久三年(1863年)、下河原の火災で寺は焼失。



翌元治元年(1864年)に再建されました。現在の本堂は、昭和44年(1969年)、第20世住職海僊が改築したものです。

何を大事にしていますか？

お檀家の方々とのつながりを大切にしています。お檀家さんとは長いお付き合いで、いわば身内のようなもの。ご家族の顔も存じあげています。

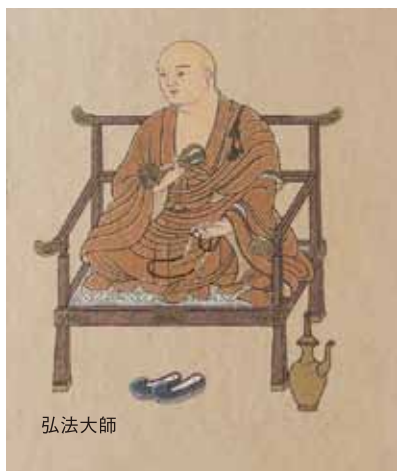
お寺には弔事がつきものですが、顔見知りや亡くなるのはやはり悲しいものです。



本尊 地藏菩薩

さらに十三世紀末、頼瑜僧正が覚鑿の教学を新義真言宗として確立し、根来寺は隆盛を極めました。

しかし十六世紀末、根来寺は戦国の戦禍に遭い、僧侶は散り散りに。その後、豊臣秀長公により専誉僧正が長谷寺に招かれ、豊山派を興しました。以来この寺は学山として栄えています。豊山派の名は長谷寺の山号「豊山」に由来。花藏院はこの流れを汲むお寺です。



弘法大師

本堂には御本尊の地藏菩薩坐像、宝冠釈迦如来坐像、不動明王坐像、天女の天井絵などが収められています。

これらはみな江戸期の作で、当時の檀家の助けにより焼失を逃れたと伝えられています。

また、境内には寺に縁ある職人たちが寄進した太子堂があり、聖徳太子を祀っています。



ご供養の諷誦文を書いていると、つい涙ぐんでしまうこともあります。法要は法要として、お檀家の方々にはできるだけ長生きしてほしいですね。

わたしは市役所勤めも経験しましたので、皆さんと同じように世の苦勞もそれなりに見てきました。人間、上を見ればきりがなく、下を見てもきりがなく、誰も何かしらの悩みを抱え、それを背負いきれないこともある。でも、枝葉末節に惑わされず本質を見据えていれば、自ずと道は開けるものです。

どんなときも他人のためにと、思う気持ちを忘れないでほしいですね。そうすることで、やがて自分にも幸せがやってきます。